

経営比較分析表（令和5年度決算）

栃木県 鹿沼市

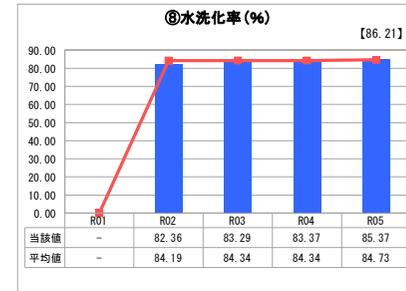
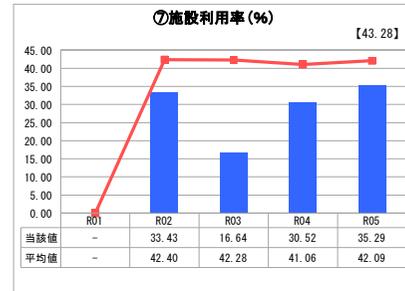
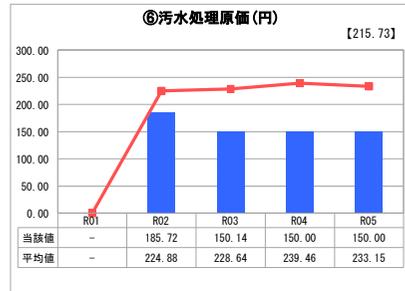
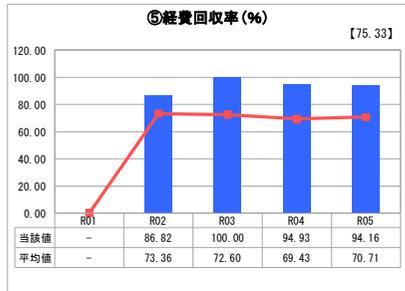
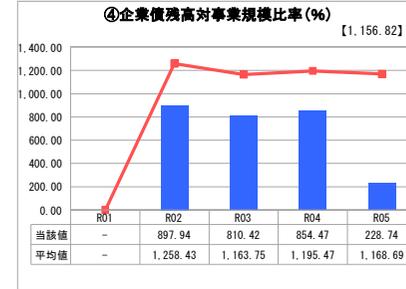
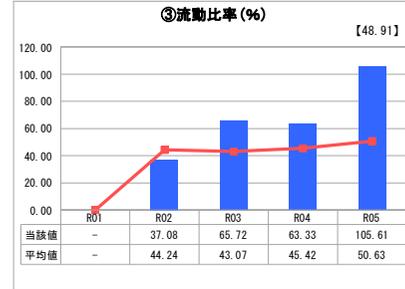
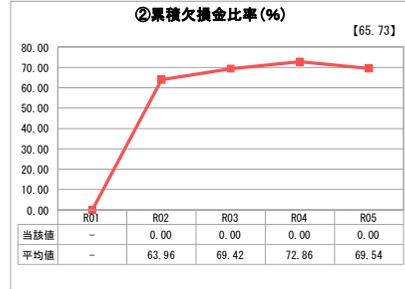
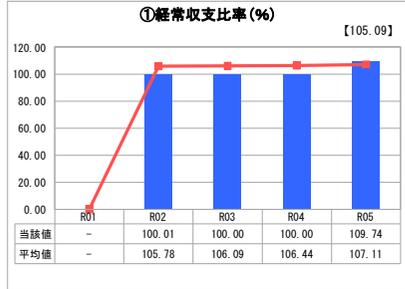
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	78.02	1.76	84.08	2,640

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
93,807	490.64	191.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,641	0.65	2,524.62

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業法を適用したため、令和元年度以前のデータはない。

① 経常収支比率は109.74%で100%を超えているが、基準外繰入金を多く含んでいることから、基準外繰入金の削減が課題である。

② 累積欠損金はないが、基準外繰入金が多いことから、基準外繰入金の削減が課題である。

③ 流動比率は令和4年度から大幅に増加し、100%を超えたが、基準外繰入金を削減する必要があるため、資金繰りの余裕度は未だ低い状況である。

④ 企業債務高対事業規模比率については、企業債の償還がピークアウトを迎えていることから減少していく見込みである。

※R05当該値は228.74%ではなく、667.01%が正しい。

⑤ 経費回収率は94.16%で類似団体と比較し、23.5ポイント上回っているが100%に満たないことから、使用料改定の検討や効率的な事業運営に取り組んでいく。

⑥ 汚水処理原価は、類似団体平均より低い値である。

⑦ 施設利用率は、令和3年度以降増加をしているが、類似団体と比較し6.8ポイント下回っている。

⑧ 水洗化率は、85.37%で、類似団体とほぼ同じ水準である。水質保全や使用料収入確保のため、水洗化率向上に努めていく。

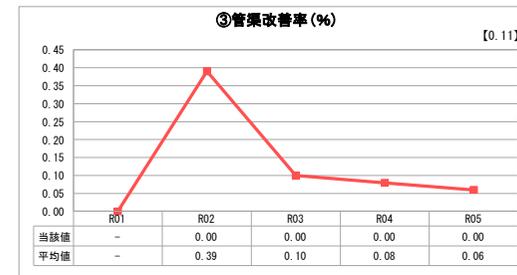
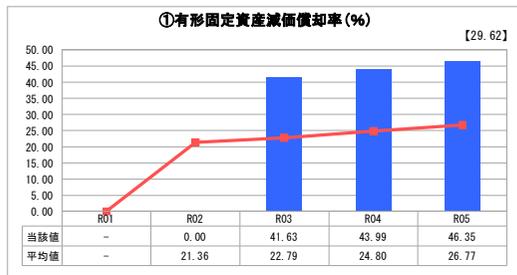
2. 老朽化の状況について

令和2年度から地方公営企業法を適用したため、令和元年度以前のデータはない。

平成17年3月から供用を開始し、現在のところ耐用年数を迎えた管渠はない。

しかしながら、処理施設の老朽化が進む中、施設の修繕や更新等については、計画的に行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

事業の効率化、経費削減や人員配置の適正化を図りながら事業を実施しているが、財源を一般会計繰入金に依存しており、また、経費回収率も100%に満たない状況である。

今後も、人口減少による使用料収入の減収や、物価高騰等に伴う維持管理費の増加等が見込まれることから、使用料改定等、経営改善に向けた取組を行っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。